

平成21年度 議会報告会の成果・反省等

- 議会報告会を開催したことには総じて高い評価があり、「やって良かった」との思いを共有することができました。何より会派やグループの垣根を超えて、議員それぞれが議会を背負って市民に面したことは新鮮な体験でありました。

一方、「財政危機・市立病院経営問題など、ここまで放置した責任は議会にもある。議会は何もしてこなかったのでは」との手厳しい指摘も受けました。このことは、意思決定過程に必要な質疑・討論・採決に際し、そのあり方を再認識し、原点に立ち返るべき、との指摘と受け止める必要があります。

今後は、寄せられた意見・要望の対応処理にあたって、時期を失せず、誠実に真剣に議論し結論を出すこと。そして、議論過程を明らかにすることが、次のステップにつながる最も大切なポイントであると考えます。

- 以上のほか、各班から出された反省点は概ね次のとおりです。
 - ・ 多くの市民参加をいただけなかった。工夫が必要。
 - ・ 開催時間は、高齢者にも配慮が必要。
 - ・ 一部の参加者の発言で時間を費やす場面もあり、進行面の工夫が必要。
 - ・ 地域の喫緊の要望に即時対応した事例があったが、全体での協議が必要だった。
 - ・ 説明資料のあり方として、わかりやすい内容に改善が必要。
 - ・ 発言に際し、応答を要するか否か、議会に対するものか、市へ求めているのか、ある程度その場での整理が必要。